

令和3年度甲賀市スポーツ推進審議会 概要報告

1. 開催方法 書面開催（令和4年2月21日諮問、3月15日とりまとめ）
2. 議題 *諮問内容
 - ・次年度のスポーツ推進のために必要なこと
3. 公開又は非公開の別 公開
4. 委員 小澤委員、山崎委員、福井委員、大原委員、宇田(美)委員、倉谷委員、宇田(康)委員、永井委員、中山委員、藤田委員、村上委員、松井委員
以上12名
5. 会議資料
 - ・協議資料 国民スポーツ大会開催等を契機とした市民スポーツに対する機運の醸成
 - ・甲賀市スポーツ推進計画
 - ・新型コロナウイルス感染症対策スポーツ施設運営ガイドライン
 - ・（一社）甲賀市スポーツ協会 第1次中期経営（運営）計画
 - ・令和2年度甲賀市スポーツ推進審議会概要報告

6. 主な意見

【全体を通じて・新型コロナウイルス感染症への対応等】

- ・今後如何にして甲賀市スポーツ推進計画を進めていくか、その方策であったり、優先順位であったり、予算化であったり、本審議会ですべての立場で委嘱された委員の方々から多くの意見を聴き市に反映させていくことが大切と考えます。また、審議会ですべての状況を把握し、その成果と課題の評価を行うことも必要であると思います。
- ・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは、感染防止ガイドラインに従い、引き続き万全を図る必要があると考えます。
- ・できる限りの感染症対策を取り、緊急事態宣言が発令されない限り施設使用を可能にさせていただきたいと思っております。
- ・中学生の部活動が長期にわたりできない中、スポーツを通じた人間関係の構築など成長期の大事なときにストレスを感じている子どもがたくさんいると思っております。そういった心のケアとスポーツを楽しめる環境整備を構築願います。

【基本方針1 生涯スポーツの推進】

- ・人生100年という高齢化社会の中、健康で心豊かな生活を送るためにスポーツが果たす役割は大変大きいものがあり、引き続き推進を図ることが大切だと考えます。
- ・障がい者スポーツの意識調査の実施（アンケート調査）を希望します。昨年、東京2020オリ・パラが開催され市民のスポーツに関する意識も変化していると思っております。特にパラリンピックのテレビ中継をライブ配信で観戦した人はたくさんいると思っておりますが、観る前と観た後で

は障がい者スポーツへの意識が大きく変化していると感じます。また、今後障がい者スポーツに何らかの関わりを持ちたい人も増加していると思います。2025年に開催されます国スポ・障スポでは、ボッチャ、フライングディスク競技が障スポの公式種目として本市で実施されます。市民の盛り上がりと関心度を把握するためアンケートを実施願います。特に小・中・高校生の純粋な気持ちを把握できればと思います。

- ・昨年甲賀市パラスポーツ協会が設立されましたが、同団体と連携強化を図り障がいのある人ない人が共にスポーツを楽しみ、障がい者スポーツの魅力を経験し理解促進を図っていただきたいと思います。
- ・滋賀県障害者スポーツ協会と連携して、県障害者スポーツ大会（スポーツフェスタの部）への参加拡大のため、関係機関への周知を図り、障がい者スポーツへの参画を促進していただきたいと思います。

【基本方針2 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進】

- ・特に重点推進事項として取り上げたいと思います。推進するための具体的取り組みを教育現場と関係各課が早急に考え推進する必要があると思います。
- ・現在、国（文部科学省・スポーツ庁・経済産業省）が進めている「地域運動部活動推進事業（休日部活動の地域移行）」にかかわって、目標として①持続可能な部活動と学校の働き方改革の両方の実現、②地域人材の協力を得て、生徒にとって望ましい部活動の実現、方策として休日における部活動を地域の活動として実施できる環境の整備と示されている。生徒数減による教職員減に伴う設置部活動の廃止・縮小が進むと、生徒がスポーツに親しむ機会が大きく減少してしまうおそれがあります。また、教職員の働き方改革を進めていく必要がある中、学校の運動部活動を段階的に休日から持続可能な地域主体の活動に移行していくことは、将来にわたって、生徒にスポーツの機会を確保していくために、必要なことだと考えています。その対応として、学校の運動部活動の代わりに受け皿となる、生徒が地域でスポーツに親しめる環境（地域スポーツクラブ等の運営主体）を新たに構築する必要があります。そのためには、スポーツ協会との連携や地域スポーツクラブ等の運営主体への支援が重要になってくると考えています。
- ・運動面に関する子どもの様子から、体を動かすことが好きな子どもは多いが、道具を使った遊びでは個人差があり、体幹が弱く姿勢保持が保ちにくい姿が見られます。また、コロナ禍の中、室内で過ごすことが増え、親子で体を動かす機会も減っているように思います。運動が楽しいと思える経験や、親子で楽しみ、誰でも気軽に参加できる機会を今後も継続的に創出していくことが必要であると思います。

【基本方針3 地域のスポーツ活動の推進】

- ・地域スポーツ活動の推進のためには、それぞれの組織との連携とともに各組織の充実を図ることが大切です。各組織にはそれぞれの特徴、良さがあり、組織の統一は慎重に考えたいと思います。
- ・各スポーツ組織・団体との連携強化を図り、特に甲賀市スポーツ協会、スポーツ推進委員、総合型スポーツクラブ及び昨年設立されたパラスポーツ協会と連携を密にして、楽しむスポーツの推進に協力願います。

【基本方針4 競技スポーツの推進】

- ・スポーツ環境（施設）の充実と指導者の育成が必要であると思います。学校関係では適性に合った人事を行うことで指導者も育ち生徒達の競技力も向上するのではないのでしょうか。
- ・障がい者スポーツ指導員の育成と確保について、先生方の中にはスポーツの優れたスキルを持った人たちがたくさんおられると思います。教育委員会と連携して、そういったスキルのある先生、障がい者スポーツに興味のある先生が指導者及びボランティアへの協力をしていただけよう希望します。できればその中から指導員資格の取得を推進いただくよう希望します。
- ・2025年国スポ・障スポに向けて競技力向上が強化されると思いますが、障スポでは公式競技としてボッチャ・フライングディスク競技が実施されます。そのためにスポーツイベント、普及強化練習等様々な事業が実施されると思いますが、スポーツ施設の予約が難しくなっています。優先順位を付ける等の配慮が必要であると思います。
- ・水口体育館ではボッチャ競技が公式競技として開催されますが、体育館フロアにボッチャのラインを事前に入れておき、いつでも誰でも手軽に利用できるようにしてはと考えます。2025年の国スポ・障スポ終了後のレガシーとして、ボッチャ競技が共生社会の実現への架け橋となるように期待しています。

【基本方針5 スポーツ環境の充実】

- ・経費はかかりますが、50年、100年後を見越した市民のニーズにあった施設が必要であると思います。
- ・ボランティアの募集について、2025年には本県で国スポ・障スポが開催されますが、特に障がい者スポーツは多くのボランティアの支援が必要であるため、早期の募集を実施していただき一人でも多くの方が参画でき、一緒に活動できる環境を整えていただきたいと思います。そのために、本市の広報紙、募集チラシ等あらゆるツールを利用しボランティアを募集願います。